

## 令和2年「相模の大凧まつり」大凧の題字が決定！

本市の歴史ある「相模の大凧まつり」(令和2年5月4日(月)・5日(火)開催予定)を皆様により親しみ、楽しんでもらえるよう、相模の大凧まつり実行委員会では大凧に書く題字を広く募集しました。応募総数258点(題字の総数は203点)の中から選考を行った結果、題字を次のとおり決定しましたので、お知らせします。

- 1 決定題字 入選：『 輪 風 』(りんぷう)  
意味：東京オリンピック・パラリンピックの成功と世界平和の願いを青空高く舞い上がる大凧に込めて  
作者：荻山 満恵(おぎやま みつえ)さん (3名 市内在住)  
安藤 弘子(あんどう ひろこ)さん  
田所 昌子(たどころ まさこ)さん  
佳作：『五輪』(ごりん) (5名 市内在住)  
『相輪』(そうりん) (1名 市内在住)  
本日、相模の大凧まつり実行委員会実行委員長の川崎勝重氏ほか関係役員から、市長に対し、題字決定の報告と揮毫(きごう)の依頼が行われました。
- 2 募集期間 令和元年11月15日(金)から12月13日(金)まで
- 3 選考会 日時：令和2年1月21日(火)午後6時30分～  
会場：新磯ふれあいセンター 多目的ホール  
主催：相模の大凧まつり実行委員会

### 【題字書き】

凧製作の過程の1つである題字書きの様子を見学することができます。日程(予定)等は次のとおりです。

#### <日程(予定)と会場>

上磯部大凧保存会 (6間大凧)	令和2年2月23日(日)	相模の大凧センター(れんげの里あいそ内) 所在地：南区新戸 2268-1
下磯部大凧保存会 (6間大凧)	令和2年3月22日(日)	相模の大凧センター(れんげの里あいそ内) 所在地：南区新戸 2268-1
勝坂大凧保存会 (5.5間大凧)	令和2年3月1日(日)	新磯小学校体育館 所在地：南区磯部 1028-5
新戸大凧保存会 (8間大凧)	令和2年4月5日(日)	相模の大凧センター(れんげの里あいそ内) 所在地：南区新戸 2268-1

準備は各会場とも午前9時頃から行い、墨入れは午前10時前後を予定しています。

ご来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

## 【相模の大凧について】

### (1) 歴史

大凧の歴史は古く、天保年間(1830年頃)からといわれ、本格的に大凧行事として開催されるようになったのは明治中期からです。当初は、個人的に子供の誕生を祝って揚げられました。次第に豊作祈願、若者の意志や希望、国家的な意義を表徴するものとして地域的な風習となり、現在では観光行事として親しまれています。

平成22年4月に相模原市指定無形民俗文化財に「相模の大凧揚げ」、それを継承する団体として「相模の大凧文化保存会」が指定されました。

一般的に、凧には絵や文字が描かれますが、「相模の大凧」には、その時々々の世相を反映したものが大凧の題字(大凧に書かれる文字)として書かれます。漢字2文字で、右上の太陽の赤と左下の大地の緑を表す色を使って書きます。

明治から昭和初期に至るまでの題字を知る手がかりは少なく、断片的にしか分かっていませんが、その題字を見ると当時の世相が伝わってきます。

「相模の大凧揚げ」は新磯地区を挙げて「相模の大凧まつり」として5月4日・5日に相模川河川敷の新戸スポーツ広場等4箇所で行います。

季節は大地に新緑の芽吹く頃、澄み渡った大空の下、春風に乗って、大凧が揚がる光景は圧巻です。

### (2) 最近の題字と理由

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 平成24年(2012)『潤風』 | 祝「はやぶさ」の帰還と「潤水都市さがみはら」の未来へ思いを込めて   |
| 平成25年(2013)『彩風』 | 素晴らしい四季折々の魅力によって益々多彩に輝き繁栄することを願って  |
| 平成26年(2014)『駿風』 | 政令指定都市となり足元を固めた4年間。相模原市がこれから、更なる上昇期を迎えるように『駿』の字に願いを託すとともに、干支にあやかり、馬のように勢いよく上向き気運に乗った明るい世の中を願って                       |
| 平成27年(2015)『隼風』 | 小惑星探査機「はやぶさ2」の打ち上げ成功を喜び、5年後の地球への帰還を祈願するとともに、幾多の困難を乗り越えた初代「はやぶさ」のように、宇宙の彼方まで相模原市が躍進し、人々に夢と希望を与える一年であってほしいと願いを込めて      |
| 平成28年(2016)『福風』 | 人や友達、家族の幸福が、「大凧」という一つの大きな幸福となって空高く舞い上がり、風に乗せて、日本中・世界中へと幸福を運びたいという思いを込めて  |
| 平成29年(2017)『輝星』 | 相模原市をホームタウンとするノジマステラ神奈川相模原のなでしこ1部リーグでの飛躍を祈念するとともに、すべての国が星の様に輝く明るい世界になるよう願いを込めて                                       |
| 平成30年(2018)『翠風』 | 翠風 <small>すいふう</small> の“翠” <small>すい</small> は、この地域の美しい緑を表し、緑色は相模原市のシンボルカラーでもある。草木の新芽のように素直な心を持ち輝く子になってほしいという願いを込めて |
| 令和元年(2019)『令和』  | 元号改正に伴い、新元号を題字とした(題字募集は実施せず)   |

問  い  合  わ  せ  先 商  業  観  光  課 0  4  2  -  7  6  9  -  8  2  3  6
---